

前回の振り返り（各委員から出た意見）

（1）子どもの居場所に関する審議

- 居場所と子どもをつなぐというところで、様々な居場所がある中で、そういった場所があることを子どもに知ってもらうことは重要だと思う。
- 子どもの居場所の定義のようなところで、物理的な居場所だけでなく、時間や人間関係も居場所になるということが伝えられる表現があるとよい。
- 居場所にいる大人や、子どもと関わる大人が子どもの権利を知っているかなど、中間答申イメージの中にもある、「きちんとした大人」という存在は重要である一方、どう確保するかなどは議論していく必要がある。
- 中間答申の中で、中野区の子どもの居場所に関する施策について、これまでの経緯や、現状、課題などに触れられるとよいのではないか。
- 新しく施設をつくるということだけでなく、今ある施設が、開館時間や利用ルールなど子どもも使いやすく有効利用されるように検討していく必要もあるのではないか。
- 子どもの権利委員会として、今回は子どもの居場所がテーマであるが、アンケート調査などではすくいきれない子どもも含め、子どもの意見を聴き、何が実現できて、何が実現できないのかといった部分の説明をするといったことをしていく必要がある。